

日本動物考古学会 第7回大会 (第2報)

参加者の皆さま

春陽の候、皆さまにおかれしては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、来る6月15日・16日の両日、千葉市生涯学習センターおよび千葉市埋蔵文化財調査センターに於いて開催いたします日本動物考古学会第7回大会のプログラム等をお送り致します。

ご参加の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまには、別紙諸注意をご一読いただき、ご準備頂きますようお願い申し上げます。

本大会は千葉市教育委員会との共催として、1日目(6月15日)の研究発表を一般公開させていただくことといたしました。本大会が動物考古学の魅力を一般市民の皆様にも広く理解していただく機会となることを願っています。

それでは、大会当日に皆さまにお目にかかれますことを楽しみにしております。

2019年4月20日

日本動物考古学会 会長 樋泉 岳二

参加費・懇親会費

研究会：2,000円(抄録集代を含む)

懇親会：6,000円前後を予定

大会に関するお問い合わせ先

〒630-8577 奈良県奈良市二条町2-9-1

奈良文化財研究所 環境考古学研究室

E-mail: ytakeshi@nabunken.go.jp

発表者の皆さまへのお願い

1. 発表要旨

口頭およびポスターによる研究発表を申し込まれた方は、発表要旨を 600 字以内でまとめ、2019 年 5 月 10 日（金）までに下記宛先の E-mail あるいは郵送にてご提出願います。要旨には英語表記の題名・発表者氏名・共同発表者氏名も併記されますようお願い申し上げます。E-mail にて送信の際は、標題を「第 7 回大会発表要旨（氏名）」として下さい。なお、受理した方には、メールにて返信いたします。

郵送： 〒630-8577 奈良県奈良市二条町 2-9-1

奈良文化財研究所 環境考古学研究室 山崎健 宛

E-mail： ytakeshi@nabunken.go.jp

2. 口頭発表

◇発表準備

6 月 15 日（土）の発表者は 12：30 を目途にご来場いただき、パワーポイントのデータを PC にコピーして下さい。16 日（日）の発表者は、当日の 8:45 までにお願います。会場には、次発表者席をご用意いたします。前の発表開始時までにご着席ください。

◇発表時間

一件当たり 20 分を割当てさせていただいております。内訳は発表時間 15 分、質疑応答 5 分とお考えください。13 分経過（ベル 1 回）、15 分経過（ベル 2 回）、20 分経過（ベル 3 回）をお知らせします。大会を円滑に運営できるよう、時間の厳守にご協力ください。

◇使用機材

会場では Microsoft PowerPoint がインストールされた Windows の PC を使用する予定です。PowerPoint 以外のソフトを使用なさる方は御自身で PC をご用意ください。

◇PowerPoint の画面設定

会場モニタへの画像投影比は4：3に設定されております。Microsoft PowerPoint をスクリーンに投影される予定の方は、【デザイン】→【ページ設定】→【スライドのサイズ指定】をご覧ください。【画面に合わせる(4:3)】が選ばれていることをご確認下さい。この設定になっていない場合(【画面に合わせる(16:9)】など)は、画像の横幅が縮んで表示されたり文字列の配置が崩れたりすることもありますので、ご承知置きください。

3. ポスター発表

ポスターにつきましては、横 90cm、縦 180cm 以内で作成してください。会場には掲示用の画紙等を用意しますので、それぞれご自身の演題番号が記されているボードにご自身で掲示をお願いします。

4. 配布資料

当日資料を配布する場合は、各自でご用意ください。1日目は一般の方 200名、会員 70名程度の参加予定です。2日目は会員のみです。当日、会場でのコピーのご要望には一切応じかねますのでご了承ください。なお、配布資料は会場入口脇の受付のテーブルに置いていただいても結構です。

会場のご案内

6月15日(土)：大会・総会会場

千葉市生涯学習センター大ホール
(千葉市中央区弁天3丁目7番7号)

※施設には有料駐車場があります(最初の2時間は無料)。満車の場合は、周辺の民間駐車場をご利用下さい。

懇親会会場

千葉駅周辺を予定



6月16日(日):大会会場

千葉市埋蔵文化財調査センター

(千葉市中央区南生実町1210番地)

- ・京成千原線「学園前駅」から徒歩12分(明德学園キャンパス内経由)
- ・蘇我駅東口から小湊バス「明德学園行」で12分、「表台」下車で徒歩4分
- ・蘇我駅東入口から小湊バス「イオンタウンおゆみ野行き」で10分、「文化財センター入り口」下車で徒歩7分

※ご来場には、なるべく公共交通機関をご利用ください(駐車場は約20台分です)。



研究発表プログラム

6月15日(土)

開場・受付 12:00～

開会の辞 13:00～13:10

研究発表A (座長：新美倫子)【一般公開】

13:10～13:30 A1 「群馬県居家以岩陰遺跡(2017年度)における縄文時代早期の動物利用」

山崎京美・黒住耐二・江田真毅・谷口康浩

13:30～13:50 A2 「さいたま市真福寺貝塚調査の最新の動向

—動物資源利用に関する予察的報告—

坂本匠・樋泉岳二・吉岡卓真

13:50～14:10 A3 「三浦半島・白石洞穴遺跡出土の貝製品—特にタカラガイについて—」

黒住耐二

研究発表B (座長：植月学)【一般公開】

14:30～14:50 B1 「取掛西貝塚の動物遺体からみた縄文早期初頭の動物資源利用と古環境」

樋泉岳二・西本豊弘・黒住耐二・白崎智隆・早坂仁敬・畑山智史

14:50～15:10 B2 「縄文早期低地性貝塚の調査成果—千葉県市川市雷下遺跡—」

服部智至

15:10～15:30 B3 「飛ノ台貝塚出土の動物形土製品の再検討」

畑山智史・金子浩昌

研究発表C (座長：黒住耐二)【一般公開】

15:50～16:10 C1 「房総の狩猟拠点と九十九里の大規模貝層

—東金市・大網白里市養安寺遺跡—

小川慶一郎・西野雅人・服部智至

16:10～16:30 C2 「貝塚の貝から社会が見える

—都川・村田川流域の中期大型貝塚の成立と消滅—

西野雅人

16:30～16:50 C3 「古代房総における貝類利用の実態」

山崎健

ポスター発表 16:50～17:30 (40分) …ポスター発表者・題目は後掲

総会・記念撮影 17:30～18:10

懇親会 19:00～21:00

6月16日(日)

研究発表D (座長：小島秀彰)

- 9:00～9:20 D1 「石川県七尾市赤浦貝塚出土動物遺体の再検討 (仮題)」
吉永亜紀子
- 9:20～9:40 D2 「鳥浜貝塚出土ニホンジカ遺体の死亡季節
一歯のマイクロウェアと鹿角の分析に基づく再検討一」
佐藤巧庸
- 9:40～10:00 D3 「縄文後・晩期の東海地域における古人骨形質の変異」
村松裕南

研究発表E (座長：佐藤孝雄)

- 10:10～10:30 E1 「近世江戸大名屋敷における国元の食文化への影響」
阿部常樹
- 10:30～10:50 E2 「奄美大島・小湊フワガネク遺跡出土の十脚甲殻類」
名島弥生
- 10:50～11:10 E3 「長江下流域の新石器・稲作農耕社会でニワトリは利用されていたのか？
ーコラーゲンタンパク分析からの検討ー」
江田真毅・泉洋江・菊地大樹・孫国平

研究発表F (座長：江田真毅)

- 11:20～11:40 F1 「遺体の時系列同位体分析によるヒグマ飼育履歴の認定」
松林順・佐藤孝雄
- 11:40～12:00 F2 「鳥浜漁業協同組合『昭和30年度鰻販売帳』にみるウナギ取引の実態」
小島秀彰
- 12:00～12:20 F3 「日本の「環境考古学」の成立と、その展望」
宮本真二

閉会の辞 12:20～12:30

昼食 12:30～13:30

資料見学 13:30～14:30

ポスター発表

- P1 「更新世シカ化石に観察された傷の実験考古学的研究」
澤浦亮平
- P2 「波怒棄館遺跡出土の石器の刺さったマグロ属椎骨の分析」
松崎哲也・山崎健
- P3 「東北地方太平洋沿岸域における打ち上げ貝の調査とその展望」
山田凜太郎・山田晃弘・菅原弘樹
- P4 「東北地方の縄文・弥生時代遺跡におけるイノシシ、シカの解体痕」
植月学
- P5 「八戸周辺域の貝類利用例—ウバガイを中心に—」
杉山陽亮
- P6 「獣骨片に残る貝殻の痕跡—大谷貝塚出土資料から—」
阿部きよ子
- P7 「加曽利貝塚におけるシカ・イノシシ利用の復元
—多元素同位体データに基づく生態評価—」
覚張隆史・畑山智史・米田穰
- P8 「真脇遺跡出土土器の脂質分析—土器に残された海産動物利用の痕跡を探る—」
宮田佳樹・三谷曜子・松石隆・村本周三・宮内信雄・堀内晶子・高田秀樹・平河内毅・
小林克也・中村賢太郎・松崎浩之・吉田邦夫
- P9 「長野県北相木村栃原岩陰遺跡における鳥類の利用について」
渡辺双葉・江田真毅
- P10 「中国・四国地方における近世遺跡の動物資源利用について」
石丸恵利子
- P11 「愛媛県上黒岩岩陰遺跡における大中型陸獣指骨利用の検討（仮題）」
吉永亜紀子
- P12 「先史時代琉球列島におけるイノシシとヒトの関係」
青野圭・波木基真・本郷一美・片桐千亜紀
- P13 「沖縄県東村跡出土のブタ」
新美倫子・金城貴子
- P14 「沖縄県中城御殿跡（首里高校内）から出土したイノシシ・ブタのDNA解析」
高橋遼平・覚張隆史・亀島慎吾・丸山真史
- P15 「西表島網取遺跡から出土したマルタニシの考古学的考察
—神奈川県産現生標本との比較から—」
宮本由子
- P16 「鯨歯・ひげ工芸細工の現状と課題—商業捕鯨再開の今—」
内田昌宏